

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 吉成 卓
〈公印省略〉
栃木県高体連柔道専門部長 吉田 嘉宏
〈公印省略〉

令和6（2024）年度栃木県高等学校総合体育大会柔道競技兼第72回関東高等学校柔道大会栃木県予選会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、貴校関係職員（部活動指導員等）・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 主催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会
- 共催 栃木県柔道連盟
- 主管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 期日 令和6年5月2日（木）開場8：00 男女団体試合 審判監督会議9：30予定
- 会場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 TEL028-684-2200）
- 競技方法及び規定
 - 審判は国際柔道試合審判規定（最新版）並びに、全国高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。
 - 男女ともにトーナメント方式とする。
 - 試合時間は全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア：以下GS）は時間制限を設けない。
 - 優勢勝ちの判定基準について
「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手をその対戦に出場した選手から任意で選出して代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦（GS）における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。「技の内容」と「指導」の重みは、【一本＝反則勝ち＞技あり＞僅差】とする。「僅差」は指導差2とする。また、代表戦において反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットし、延長戦（GS）において勝敗を決める。延長戦（GS）で反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットして再度延長戦（GS）を行い、必ず勝敗を決する。
 - 勝敗の決定について
 - 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ①で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
 - ②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は代表戦を行う。
 - 順位決定戦については男女共に実施する。
 - 関東高等学校柔道大会の要項に準じて行う。
- 参加資格及び制限
 - 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
 - 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、**（公財）全日本柔道連盟に令和6（2024）年度登録及び登録予定の者。**
 - 平成17年4月2日以降に生まれた者。ただし同一学年での出場は1回限りとする。
 - 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
 - 外国人留学生は卒業を目的として入学していること。短期留学の者の参加は認めない。
 - チームについて
【男子】
 - 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
 - チーム編成は、監督1名、選手7名（軽量級4名・無差別3名）の計8名とし、試合に出場できるのは5名（先鋒から軽量級3名・無差別2名）とするが、5名に満たない場合（3名以上）でも出場できる。その際のオーダーは、体重区分の中で後ろ詰めとする。
 - 体重区分は軽量級73kg以下とする。ただし、出場は登録した階級に限る。

【女子】

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② チーム編成は、監督1名、選手5名（軽量級3名・無差別2名）の計6名とし、試合に出場できるのは3名（先鋒から軽量級2名・無差別1名）とするが、3名に満たない場合（2名以上）でも出場できる。その際のオーダーは、体重区分の中で後ろ詰めとする。
- ③ 体重区分は軽量級57kg以下とする。ただし、出場は登録した階級に限る。

【男女共通】

- ① 試合毎のオーダー変更はできない。（選手変更は、体重区分の控え選手のみ可能）
- ② 参加申込後に選手の変更が生じた場合は、大会当日の審判監督会議までに校長の証明書を添えて申し出た者のみ認める。ただし、選手変更は軽量級1名、無差別1名までとする。
- ③ シードは前年度全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会において男子ベスト8、女子ベスト4とする。
- ④ 外国人留学生のチーム人員は男女ともに1名以内とする。
- ⑤ エントリー数以下で試合をした場合は、以降の試合もその人数以下で試合を行う。
- ⑥ 人数が男子3名、女子2名に満たない学校は合同チームでの参加を推奨する。ただし、勝ち上がりは無しとする。

- 8 引率 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とし、選手のすべての行動に責任を負うものとする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」（学校教育法施行規定78条の2に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委託する場合は栃木県高等学校体育連盟に事前に届け出る。
- 9 計量 (1) 予備計量：5月2日（木）8：30～8：50
本計量： 〃 8：50～9：20（変更がある場合は放送で周知する）
(2) 場所：男子→倉庫2 女子→女子更衣室
(3) 回数：2回まで認める。計量に合格できない者は出場できない。
(4) 計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上がTシャツで下が短パン（またはスパッツ）とする。
- 10 参加申込 (1) 申込み方法及び申込先
① 栃高体連柔道専門部ホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードしてデータを入力し、プリンターで印刷したものを郵送すること。校長及び顧問印の無い物は受け付けない。
〒320-0846 栃木県宇都宮市滝の原3-5-70
栃木県立宇都宮高等学校 市川敦敏 宛て郵送※FAX及び使送不可
② データを入力した申込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付して送付すること。
hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp 栃木県立烏山高等学校 平野聖 宛て
(2) 申込締切日 **令和6年4月23日（火）必着**
※（1）①、②ともに行うこと。
※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込むこと。
(3) 不参加は委員長（（1）①）にメールで伝えること。ichikawa-a01@tochigi-edu.ed.jp
- 11 組合せ 令和6年4月26日（金）※13その他（2）全体顧問会議で行う。
- 12 安全管理 (1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については「栃木県高等学校体育連盟危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。
(2) 栃高体連柔道専門部は「感染対策運営マニュアル」及び「栃高体連柔道専門部主管大会における熱中症対策ガイドライン」（栃高体連柔道専門部ホームページ）に則り、運営を行う。
(3) 各校代表顧問は全体顧問会議（4月開催）で配布された「EAP（緊急時対応計画）」、「危機管理フロー」の内容を参加者に周知すること。また、大会毎に会場出入口等に掲示する。
(4) 栃高体連柔道専門部ホームページに掲載されている「事故防止シート」、「安全確認チェックシート」、「ヒヤリ・ハット報告書」の項目に該当した事例を確認した場合は、危機管理委員及び専門委員に報告すること。
(5) 柔道の安全指導第6版（全柔連）、初心者事故防止の徹底事項「6ヶ月程度の十分な練習期間を設け、受け身や基本動作に成熟し、試合等も攻防に対応できる体力が備わるまでは大会等の対外試合に参加させない」を順守すること。
- 13 その他 (1) 第72回関東高等学校柔道大会（令和6年5月31日～6月2日：ユウケイ武道館）に男子9校、女子4校が出場できる。ただし、開催枠の関係から、出場数が増加する場合もある。
(2) **専門委員会 4月26日（金） 9：30～ユウケイ武道館会議室1**
全体顧問会議 4月26日（金） 13：30～ 〃
※年間を通じて本大会のみ全体顧問会議を実施する。重要事項の説明があるので、今年度の大会に参加予定校の顧問は必ず参加すること。
※昨年度まで大会当日に配布していた「審判監督会議資料」は、ペーパーレス化のためにデータを事前

に出場校顧問にメールで配信する。(予定)

- (3) 大会出場には「(公財)全日本柔道連盟」の登録(団体登録料1校8,800円、指導者登録料1名5,200円、個人登録料2,200円)等が必要になるので、全体顧問会議で説明する。
- (4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、必ず脳神経外科の診察を受けて出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)を受診すること。
 - ③練習を再開するには、必ず脳神経外科の診察を受けて許可を得ること。
 - ④当該選手の顧問は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (6) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(IJF赤ラベル・赤認証ラベル)と帯(IJF赤又は青ラベル・赤又は黒認証ラベル)を着用すること。女子の黒帯は白線入りを不可とする。氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を使用のこと。ただし、1年生については今大会のみゼッケン無しで出場可とする。
- (7) 大会当日の受付(審判監督会議の前)で初戦のオーダー表を提出すること。オーダー表は栃高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。
- (8) 要項の内容については選手及び保護者に周知し、大会参加には、選手及び保護者の同意を得ること。
- (9) 8:00開場後、直ちに試合会場の準備を行う。
- (10) 肖像権の取り扱いについては「栃木県高等学校体育連盟主催大会における個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて」に準ずる。
- (11) 感染症等の流行状況により、大会内容等が変更となる可能性がある。変更等は栃高体連柔道専門部ホームページ等を活用して周知する。
- (12) 全体顧問会議(4月開催)に参加した学校は専門部に申し出たメールアドレスに、以降の大会要項を送付する。全体顧問会議に参加できない学校で以降の大会に出場する場合は、栃高体連柔道専門部ホームページから大会要項をダウンロードし、栃高体連柔道専門部委員長(市川敦敏:栃木県立宇都宮高等学校)に連絡をすること。その際にメールアドレスを申し出た学校は、以降の大会要項を送付する。
- (13) 栃高体連柔道専門部ホームページアドレス【<http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>】
- ※各種大会等に関する情報を掲載するので確認すること。



栃高体連柔道専門部
委員長 市川敦敏
栃木県立宇都宮高等学校
TEL 028-633-1426